ず導どく立がへ転やっ

ちさンテ

会い今る叱も悪ち意同か不も叱っっとががせしにすトンそ技ももっの競みン援時のの技応で陸

でろの姿っちいにや時し足た責てて同って「ば声がにトのをたにとテ技興トに間子応に援の上のい状がてろこな叱にいをちし興いじてテ等らをに入内う注ちと応ンをじ内飽のど接参場こ競一ろ況見テんとり責、と反のまじき遊遊ンにくか私りだちにから見りませた。アルカルをとすのなった。

競どどずちでさテ応

、し様でし内観め「て過たにしので場

昨すくはり持注

日

遠

足

し年と

校 だ ょ ŋ

学

のい状がてろこな叱に、なっしん。 一ろ況見子んとり責、思反のまじき遊遊ンにくか私りたらだなった。 コとをら育のをまを周い省教してまびびトじた、我んでもしたでしませきとちきたとれてこしし囲もさ育たいしが始前たた。 でえ念なをとたたなのしせに。るた子めのりをでえる接気でい過いたせのも多いでえた。 しさにく支他り。い親まら携叱子。どま芝したをきび、がしないたせのも数た競ったは思か遅んし子こやしれわ責どそもし生で、という。 たい思か遅んし子こやしれわ責どそもし生で、他では隣自アなる言し私テセ子子見り技ン 我んであたが離さのてしるたともされた。 催校 さ長 n たト 市野 民 運誠 動

校親競









た篭につき 。の、た当

`た当場り

申まま日の でで変子ン 大丨体 せでてま降 しししは方今は自でどヤ子変やと内らし `せり当 のワ天 しししはカラはロ、こ・、②、こ あたた中に年な信しもにど盛子な容れた最ん、日 げす。学つもいとたたはもりどり的ま。後でグは 秋一ま げす。学つもいとたたはもりどり的ま で 季 まべ運生く立かたがち称た上も、にし途ましラ午 大を届 て動につ派とく、も賛ちがた楽はた中でたン前 運スけ の会もてな思ま立猛ののりちし今がは実がド中 動口 皆に係い緑いし派暑拍一まのい年 、狀暗 判施 会丨滄 は保等を明まさにのが事しれ競も はなっただといった。 にわでだをしたをやり送車で自技学 断で砂熊雲 がガ浪 等きをは立 無ンつ 身りで送演 事に子 おりおき保 全や校 にた補万ち るりてらばに遂のよ技 礼ご世ま護 ヤこ充全こ 員班と 終しの つげ練されや リ対校 キとしとめ 了てや と協話し者 けた習れ 感力にた、謝頂な。地 レ抗区 モはたは しのる たこでたのと大のと大のと大 ーリが キ幸り言雨 ま本気

等レ-

をきり当域

し恵多てあをらンか くまかのり訪のドら特な 、実浪十 れつ甑な問一ウ始に目 -施小月 六四 、た島がし部オま三的八四一 日 をそよ訪らま補ツつ、地生生生生過れう間、し助ンた四にはは れ校日 ま合は ぞでの離た金グ市年しばははしれず子島。を一の生。B島川た しれす子島 。どな同頂事」は 秋山 C 動 よ学天ものじい業甑 の小 放 物 うで 年気たで市てでア本 送 亰 がにち初内甑市イ年 局 日寄 '。楽ももめで島かラ度 が 遠田

さいしえも

たき しの頂安中すた中 あごき全しるがかけ配ま面でこ、ら 涌 V)

しは

ま慮しかいをはた

(?) ま慮しかいではた 字的すにたらま狙雨り当 で果。感保ごしつもした 仕学りた所を全 謝護協たて気まは 申者力。熱にし途 掛校借りは実校 けで用の河施児ケ を用し港口し童 し意たで大ま参シ し加ョ てしり `橋 出たし各をでしい と子小 など雨 かサた自渡 て科 くもも 海の けビ釣持つ 大た降 まキりちた で授 しと竿寄突 物ちつ の業

> 2926235 4 3 1 31 日 日日日日日日日 金火金木水月 問月 日 勤P仲文代 校日 区曜

生 進活 , ん目 で標 卜神 校労T良化替 ラ田 集感A V١ しの休 書 &将 て を 音日日 学 習 シり 日委 ョオ 祝員 ょ う ン 日会

25

日

命

切

公い

開じ

考の

文参

化観

月

ŋ

に

出

か

け

12 11 焼10校25祖30 ぎり区り父り 芋13文12母11 大:化:参: 会25祭10観15 暗 唱 合 唱

発

表

10

日

0

主

な

 \exists

もで の表す文し 特待し五本 あ育当ごも。化まにちて五本 りて日参あ子祭す本し、世本 または、れまます。一年では 、をまも本三年で地本は すサ 。ツ子おすた校十度い域年十 マど待。ち体一かまの度月 モたし非合館、日のちて、唱で日曜 方記一 焼がお地や開曜参 のの日 き学り域朗催日観 ご週か 芋校まの読さはも 来間ら 大農す皆のれ校実 校に十 。様発ま区施 会園 を設

地 県城 民が 週育 間む 校区で 文 ま 化 の

- 1 -

